

世界史

	古代エジプト	学習日 月 日	名前:
--	--------	---------	-----

「エジプトはナイルの賜」… (1 []) の言葉

砂漠に囲まれた閉鎖的な地形 → 安定した王朝が出来る(古代エジプト王国はBC30まで続く)

ノモスの形成 … 灌漑をおこなった集落 = 政治単位、エジプト人(ハム系)による

※ BC4000頃には上エジプトに22、下エジプトに20のノモスが成立

古王国

BC3500頃 上エジプト、下エジプトの成立

BC3000頃 メネス王によりエジプト統一、支配者は(2 [])、都:メンフィス

※ 以後第3王朝から第6王朝を古王国時代という(BC27c~BC22c)

※ (2 [])は太陽神(3 [])の化身とされ、神権政治を行う

ピラミッドが作られる … ギザのピラミッドが有名、特に第3~4王朝で作られた、クフ王、カフラ王、メンカフラ

王

※ ギザはカイロの対岸、メンフィスはギザの上流

→ 天体観測、測地術、土木建設技術が発展していたことがわかる

中王国

BC21c~BC18c、第11~12王朝

都:テーベ … メンフィスより上流、テーベの主神(4 [])が信仰される → アメンニラーとなる

BC17c (5 [])の侵入、エジプトを支配(15・16王朝)



古代エジプト文化

宗教 … 太陽神ラーを最高神とする多神教

→ 新王国時代にはテーベの主神と結びつきアメンニラーとなる

靈魂不滅と死後の世界を信じる

→ 死後の世界はオシリス神が支配する世界、ミイラを作り死者の書(パピルスに記す)を副葬

→ 1922 ツタンカーメン王の王墓が有名

文字 … 神聖文字(ヒエログリフ)と民用文字(デモティック)

ヒエログリフ … 碑文・墓石・石棺に使用された象形文字

デモティック … 簡略化し、民衆が用いたパピルスに記録された文字

※ 1799 ナポレオンのエジプト遠征時にロゼッタストーン発見(現:大英博物館蔵)

→ 1822 シャンボリオンが解読

実用的学問が発達

※ 灌漑農業 → 測地術 → 天文学・幾何学

暦は太陽暦が用いられる → ユリウス暦のもと

新王国

BC1567~BC1085、第18~20王朝、都:メンフィス(一時テーベ)

ヒクソスを追放、独立を回復、シリア・パレスチナ方面にも進出、アメンニラーが信仰される

(6 [])… BC15c前、第18王朝、エジプトのナポレオン、シリアやヌビアに遠征

(7 [])… BC14c、第18王朝

宗教改革、アトーン神教へ、テルニエルニアマルナに遷都、イクナートンと呼

ばれる

※ アマルナの遺跡からBC14cの外交関係を記録した文書が発掘された(アマルナ文書)、人類史上初の国際関係構築

(8 [])… BC14c、第18王朝、宗教改革をもとへもどす、テルニエルニアマルナ破壊、墓は王家の谷

(9 [])… BC13c、第19王朝、ヒッタイトと抗争(カデシュの戦い)、出エジプトの時の王、アブシンベル神殿